

よな ひめ
胞姫神社



社務所 〒949-3664 柏崎市上輪 329-1
電話 0257-26-2552

胞姫神社

〇二五七―二六―二四二七

▲ 御祭神

主神

息長足姫尊
(おきながたらしひめのみこと)

高竈神
(たかおかみのかみ)

(神功皇后)

配神

譽田別尊
(ほんだわきのみこと)

建御名方命
(たてみなかたのみこと)

(応神天皇)

▲ 祭例日

祭例日	元旦祭	祈念祭	例祭	月次祭
一月一日 〇時より	四月 第一日曜日	七月 第三日曜日	毎月 一日・一五日	

胞姫神社社記（天保三年）

義経公北御産所伝記

そもそも當所に御鎮座まします 胞姫大明神の由来をくわしくたづね奉るに頃は文治二年弥生のすゑ九郎判官奥州下向の折ふし吉野山より熊野山伏姿にさまをかへ忍び出給う

御供には亀井片岡伊勢駿河権守兼房武蔵坊弁慶主従十七人にて加賀の国富樫が関をのがれさせ給う日を送り當国は直江津に着せ給う是より御舟に召され 寺泊の浦に御舟を寄られんと思し召す所に佐州北の方だけより平家の一類たたりをなし波かぜあらふして御舟をくつがへさんとせし處にへうへうとして當所の浦に入津らせ給う 夫より此の山にさしかかり北の方しきりに御はら痛み皆に驚き笈をおろしはいしたといたし則ち柳ありける枝をかり敷きここぞ御産所と定め則ち御産平安なさせ給う此の時より子安柳と名附け今に柳の跡あり其の時弁慶懷中より餅一つ取り出し力餅として奉る 扱又一丁程行少しのやちにて南無や氏神正八幡水を出したまわれと大地に金剛杖を突たつれば水たちまちわき出たりあら難有やほらの貝にて汲取りて御産所へ持参り若君をそそぎ奉り則ち御寿命三浦の大椽にあやかりましますせ御威勢は御父に似させ給ひ恐ながら力は武蔵坊にあやかりましますとて則ち御名を亀若丸と附け奉る其の時より此の山を亀割山と号するなり是より南に當り胞へそを納めたてまつる胞よな姫大明神とそんたい致し當所の鎮守とちん座なし奉る 此の宮に弁慶胞よなを納め奉る印の名あり則ちわきだち源氏の氏神諏訪八幡御立まします是より西にあたり亀若丸誕生の跡屋敷あり、北に當り産水ありいかなる日てりにても此水ひる事なし則ち此水にて餅を突き力餅とし名代をひろめ一切女人の守神とならせ給う又是より北西の間に白糸の滝所々にきすいをあらわせ給うれい神能々信心あるべきものなり